

# ねばり強い文化のまちづくり ～ 納豆文化の継承と発展～

常磐大学人間科学部  
林 寛一ゼミナール

- 青木幹尋 (ゼミナール代表)
- 木村美紀・林 裕樹 (発表者)

# 水戸のシンボル 水戸黄門・偕楽園・ 納豆

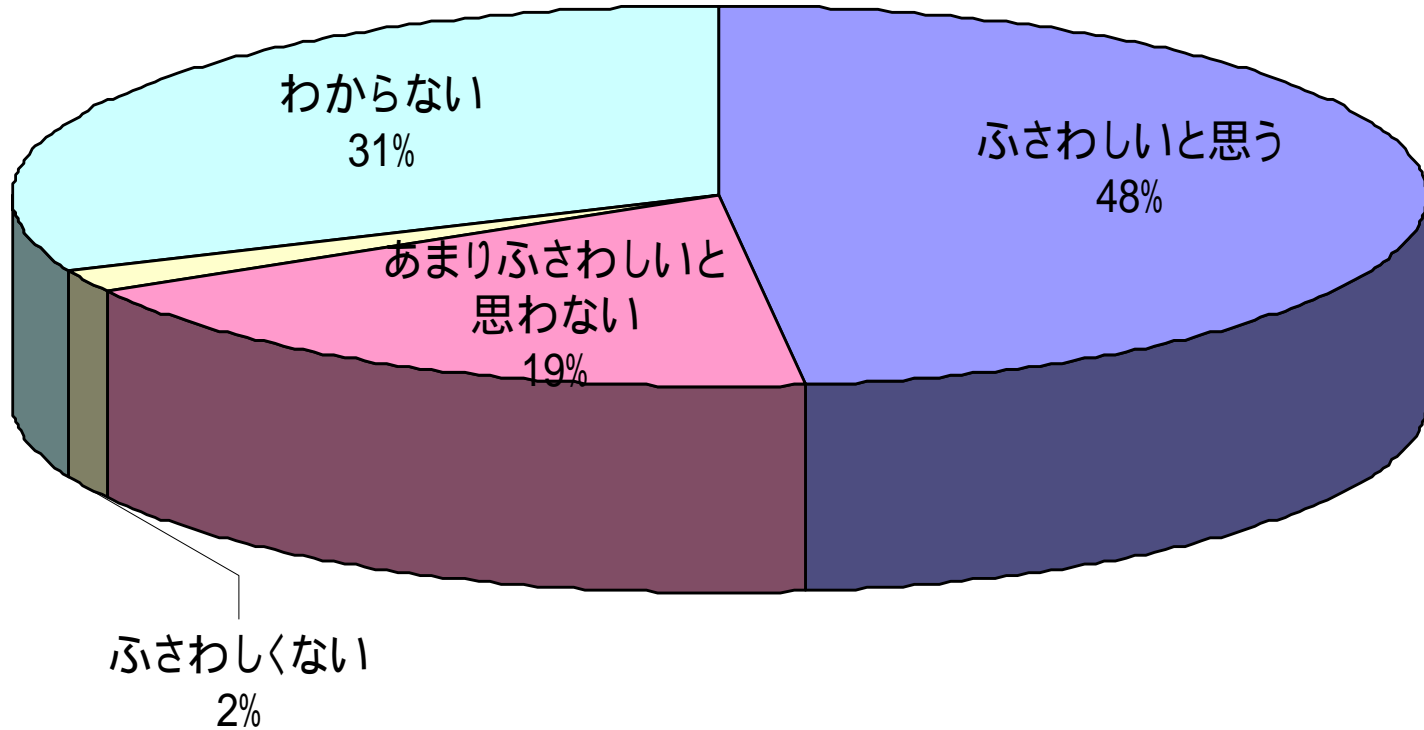
有効に活用されていない

納豆文化の脱構築と再発見

市民、企業、行政のネットワークを  
生かした街づくり

# 水戸の食文化 納豆を文化シンボル

水戸のシンボルとして納豆はふさわしいと思いますか



目標(1) 水戸市の食文化のシンボルとして納豆を宣伝

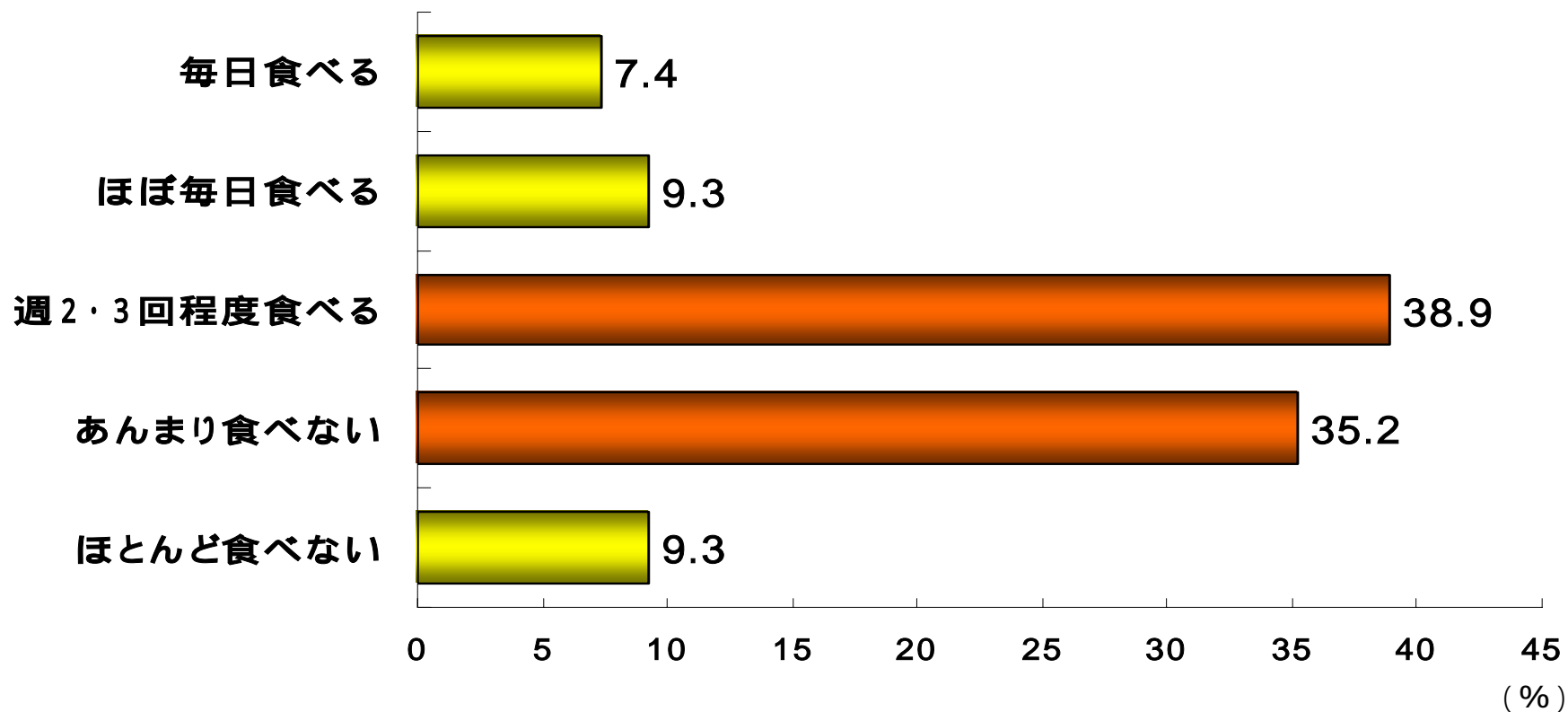
目標(2) 納豆博覧会の開催による、市民交流の場の拡大

目標(3) 納豆文化を通じた地域活性化

# 政策課題の構造化

## (1) 納豆離れの傾向

あなたは納豆をどの程度たべますか？

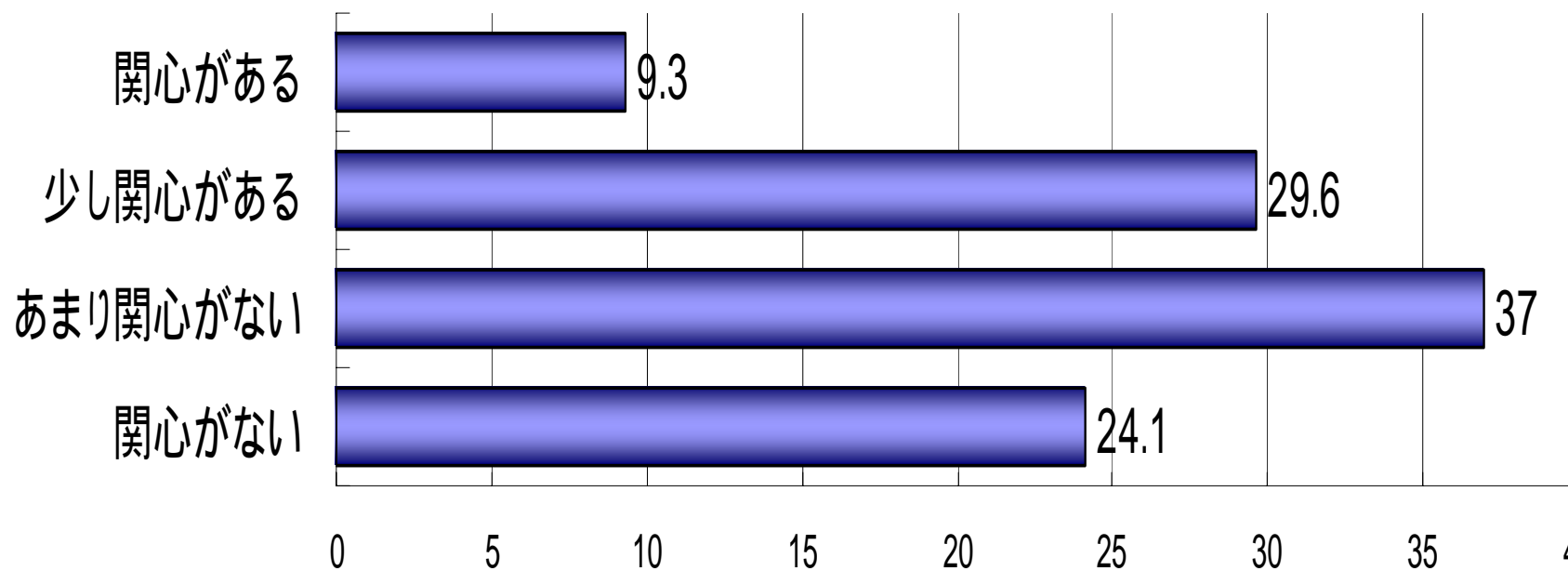


## (2) 納豆の消費量

全国第2位

### (3)文化都市づくりの熱意と継承が衰退 単なる行政都市化への危機意識

あなたは水戸の文化活動について感心がありますか？



## (4) 持続可能な市民活動が必要

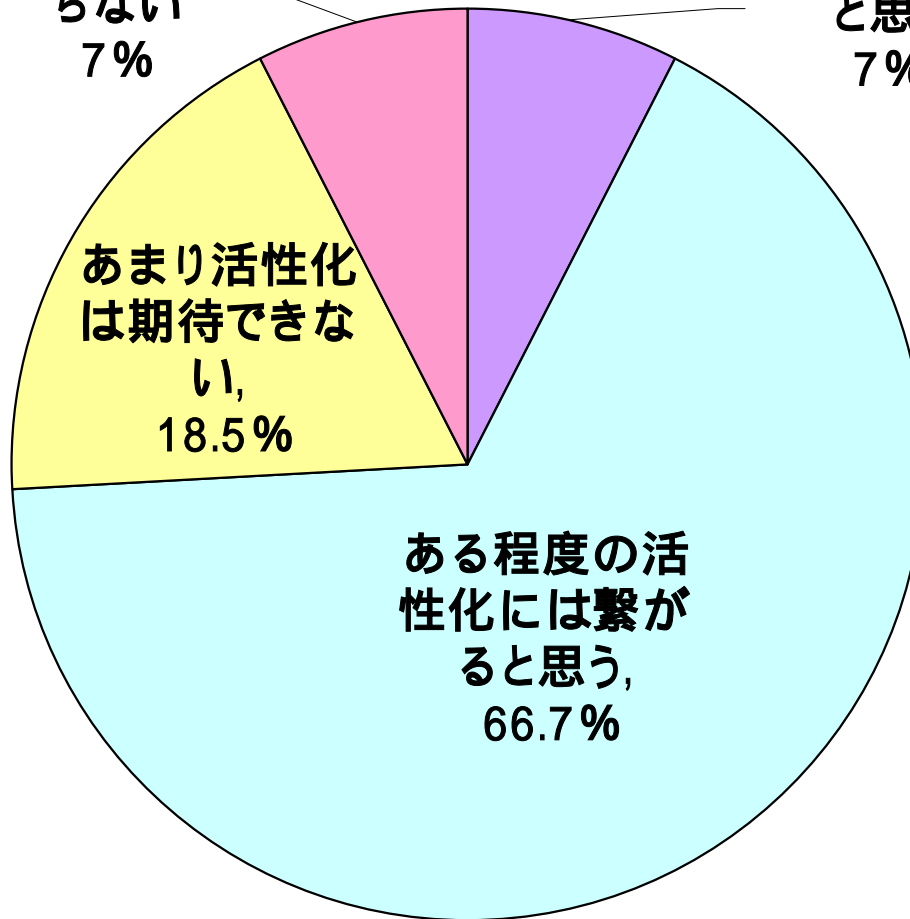
水戸の文化活動が活性化につながるといいますか？

活性化にはな  
らない  
7%

活性化される  
と思う  
7%

あまり活性化  
は期待できな  
い,  
18.5%

ある程度の活  
性化には繋が  
ると思う,  
66.7%



## < 広報活動の具体的な目標 >

納豆のキャラクターを作る

市民情報誌やホームページを活用し情報を提供

## < 博覧会に向けての具体的な目標 >

納豆に関する総合的なポータルサイトを開設

納豆料理世界選手権を同時に開催

市民主体の博覧会を開催

## < 納豆博物館に向けての具体的な目標 >

偕楽園の近くに造る

納豆バスを走らせ水戸駅と博物館を循環させる

# 水戸市の政策方針

## ■ 市民事業の名称

大好きわが町

「納豆博！」

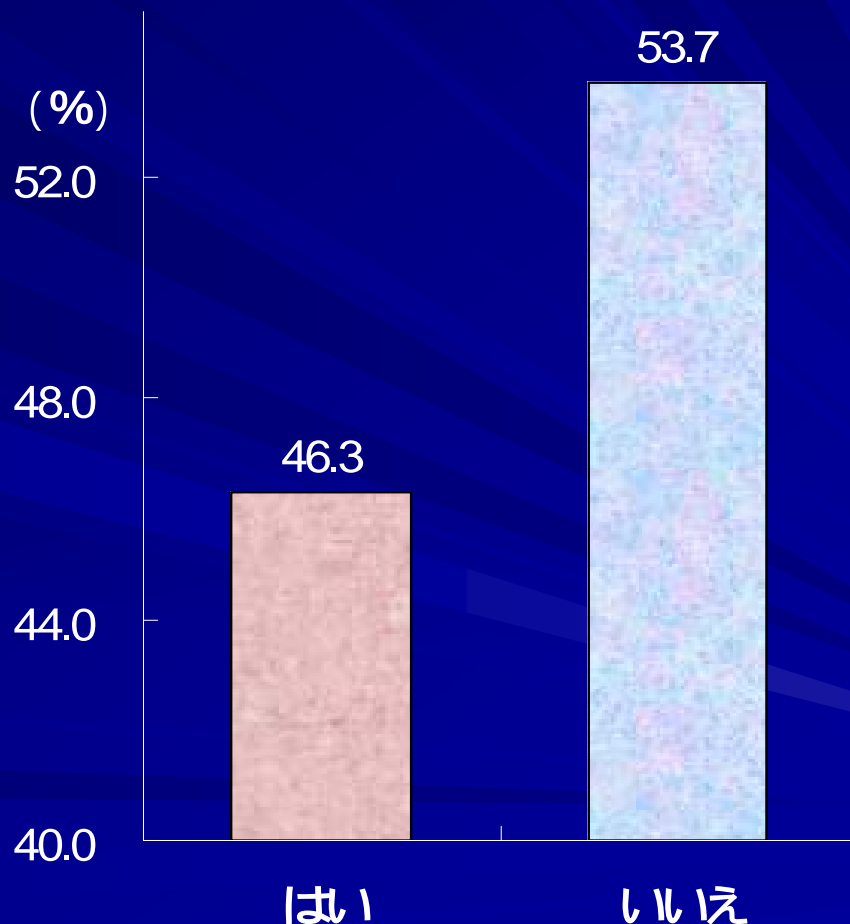
## ■ 具体的な目標

納豆博覧会

『ねば～ランド』

開催

もし納豆博覧会が開催された場合、参加したいと思うか？





# 市民事業の概要

ポータルサイト

「NATTO - 水戸」

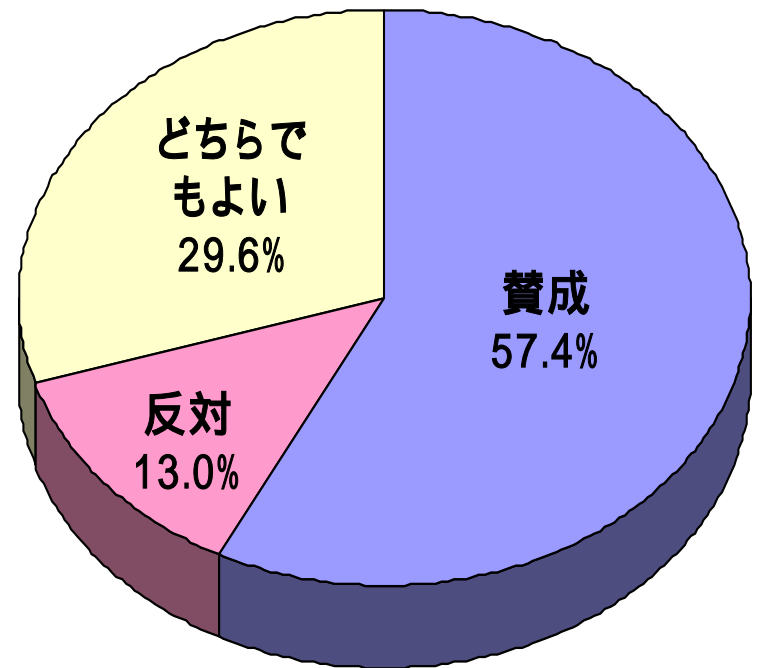
開設

学校給食で

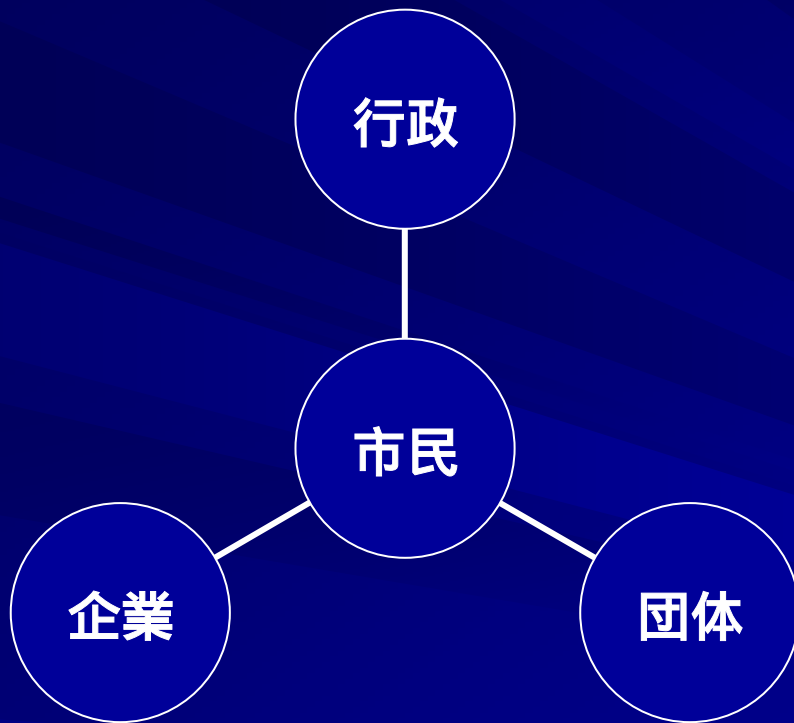
7日・10日納豆の日

給食に納豆を添える

7日・10日に納豆を添えることについて



# 市民中心の企画・運営



・市民ボランティアのNPO  
「ねば～ランド」を立ち上げる。

市民が中心に行うことで  
低コストででき、市民が親しみやすくなる。

事業の目標達成期間、そしてどーなる！？

3年での納豆博開催

食文化の関心が高まり  
住民の連帯感が強まる

地域活性化につながる

健康になる

消費日本一へ！！！！

# 林ゼミ参加メンバー(3年生)

- 青木幹尋(ゼミ長)
- 荒井麻実(副ゼミ長)
- 木村美紀(発表者)
- 林 裕樹(発表者)
- 鈴木祐太(パソコン操作)
- 佐藤菜穂子
- 松山有紀子
- 林 舞衣
- 松本秀樹
- 堀江裕樹
- 井上真紀子